

事業番号	事務事業名	地域介護予防活動支援事業費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
24173	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者
	施策名	14	高齢者福祉の推進	根拠法令等	介護保険法(平成9年法律第123号)	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	申し出のあったてごなかま協力事業所に、認定証等を交付する。てごなかま登録の申請があった者にてご帳等を交付する。 てごポイント転換交付金交付申請の内容を確認し、転換交付金の支払いを行う。 社会福祉協議会が行う生活応援隊等について必要な支援を行う。	平成18年の介護保険法改正により開始した地域支援事業で、介護予防一般高齢者施策の中で実施することになった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 65歳以上の町民	ア 65歳以上の町民人口	人	見込 実績	4,750 4,740	4,750 4,747	4,694 4,757	4,788	4,720
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 介護予防の取り組みを支援する	ア てごなかま参加者数	人	目標 実績 達成率	50 49 98.0%	50 39 78.0%	50 25 50.0%	50	50
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア てごなかま登録の受付	ア てご帳交付数	冊	目標 実績 達成率	50 49 98.0%	50 39 78.0%	50 25 50.0%	50	50
イ 転換交付金の支払い	イ 支払い回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	24	款	05	項	01	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号	
	介護保険特別会計(保険事業助定)		地域支援事業費		介護予防・日常生活支援総合事業費		一般介護予防事業費	02	01		地域介護予防活動支援事業費				24173	
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比			
国庫支出金	1,403	1,664	1,756	1,608	1,676	93	国庫支出金	1,297	1,558	1,641	1,608	1,676	83			
県支出金	702	726	766	731	741	40	県支出金	675	680	716	731	741	36			
町債							町債									
その他特財	2,273	2,294	2,422	2,330	2,349	128	その他特財	2,192	2,148	2,263	2,330	2,349	115			
一般財源	1,237	1,124	1,187	1,183	1,164	63	一般財源	1,251	1,053	1,109	1,183	1,164	56			
合計	5,615	5,808	6,131	5,851	5,930	323	合計(A)	5,415	5,439	5,729	5,851	5,930	290			
財源名称	地域支援事業国庫交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)						従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	介護給付費支払基金交付金						延べ業務事務時間	24	24	24	24	24				
	地域支援事業県費交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)						人件費計(千円)(B)	81	84	80	80	80	-4			
	最終予算額		6,131 千円		予算執行率	93.4%		トータルコスト(A+B)	5,496	5,523	5,810	5,932	6,011	287		
主な支出事業内容(予算)	委託料(物)						3,838 千円		委託料(物)						3,818 千円	
	負担金						1,893 千円		負担金						1,893 千円	
	補助金						400 千円		補助金						18 千円	
								主な支出事業内容(決算)								

事業番号	24173	事務事業名	地域介護予防活動支援事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	---------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成27年の介護保険法改正により、介護予防・日常生活支援総合事業を開始することになった。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
社会福祉協議会が生活応援隊の制度を実施するに当たり、事業内容の検討に必要な支援を行った。介護支援ボランティア制度「せわあない会でごなかま」を開始した。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
介護予防に取り組み、いつまでも元気でいたい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	生涯にわたる健康づくりと介護予防の仕組み作りに該当し、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	介護保険法に規定された事業であり、町が保険者として高齢者福祉の推進のために実施するものである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	介護保険法に規定された事業であり、対象と意図を見直す余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	制度を周知し、てごなかまや、生活応援隊の参加者の増につなげる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	医療費や介護給付費の上昇を抑制する意味でも、介護予防の取り組みは必要であり廃止や休止をすることは適切ではない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	生活応援隊養成講座は、可能な限り開催している。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	事業費は必要最低限であり、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	業務時間は、必要最小限であり、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	介護保険法に定められた者を対象としており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症の影響により、協力事業所の受入が困難となり、2年度は登録者が激減した。 度を周知し、てごなかまや、生活応援隊の参加者の増につなげる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 制度を周知し、てごなかまや、生活応援隊の参加者の増につなげる。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								